

【Beren】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿。小神。英雄。

■称号

“ 騎手 ”

■概略

馬の扱いに長けた神話時代の英雄神。

ハイアロールの子らの子孫であり、小暗黒時代に馬を伴ってヴィングコットの元へとやって来た。ヴィングコットの子らにとって異邦人であったが、ヴィングコットの娘レダイルダと結婚し、ヴィングコットの子らの諸部族の一つ、ベレネステリ部族の父祖となった。

妻であるレダイルダとセアードの女神レラディーヴァとの類似性について言及する学者もあり、こうした学者は“騎手”ベレンが「ハイアロールの子ら」の王であったと推測している。

『ヴィングコットの子らのサガ』の一編『ヴィングコットの子らの諸部族【The Tribes of the Vingkotlings】』には

冬の妃との間に、ヴィングコット王は二人の息子と三人の娘をもうけた。年の順に、彼らの名はペネーネ【Penene】（彼女は“五つの”カストワール【Kastwall】と結婚した）、ラストラル【Lastoral】（彼女は“人食い”ホルスク【Horsuk】と結婚した）、リプトル【Portoscriptor】（彼女は“騎手”ベレネス【Bereneth】と結婚した）である。彼らの子孫が「冬の諸部族」と呼ばれた。彼らの部族名は北部アガーのペネンの一族【Penentelli】、オスリル流域のラストラルゴールの一族【Lastoralgortelli】、北部ターシュのインフィースの一族【Infithetelli】、オスリル上流のジョーガノスの一族【Jorganostelli】、セアード上流のベレネスの一族【Berenethelli】である。

と見られる。また『禿鷹の無宿人達の物語【Tales of the Vulture Campers】』では

・ベレネスの子らの王達 Kings of the Berennethelli

ベレネステリ部族の王家は「大暗黒」を生き延びて、「第一期」に重要な役割を占めた。“駿馬の”ヴェネフ【Venef the Stallion】王はヒョルト王を「至高王」として認めた。ヴェネフはイヴェルランスト【Iverlanthto】の息子であり、その父は“太陽の”フロラルルフ【Brolarulf】、その父はヴィンガルフ【Vingulf】、その父はウルヴァルガル【Ulvargar】、その父は“騎手”ベレネスである。

と見られる。

組織

■相、カルト

エルマルの下位カルト。

近親

■配偶者

レダイルダ。

■子

レダイルダとの間にウルヴァルガルをなす。

別名

ベレネスとも言う。

参考文献

- ・ The Saga of the Vingkotlings (『Enclosure #1』)
- ・ 『Strom Tribe』 p.53